

田中さん(岡山大大学院)ら仁科賞

仁科顕彰会(会長・伊原木隆太郎知事)は7日、優秀な研究成果を上げた県内の理工系大学院修士予定者に贈る「仁科賞」の2017年度受賞者4人を発表した。授与式は14日に県庁で行う。

受賞するのは、岡山大学院自然科学研究科博士後期課程(数理物理学専攻)の田中健太さん(28)、同(応

用化学専攻)の藤居一輝さん(27)、岡山理科大学大学院理学研究科博士後期課程(材質理学専攻)の藤原泰誠さん(26)、県立大大大学院情報系工学研究科博士後期課程(システム工学専攻)の板野由佳さん(34)。

田中さんは、スピンの偏極をもつ非従来型超伝導で磁場をかけて現れる新現象を研究し、

理論的に示した。藤居さんは、医薬品や農薬を効率的に作るための触媒を開発し、既に市販されている。藤原さんは、重晶石を用いて海底熱水活動の年代を推定する手法を確立。板野さんは、携帯電話などの無線機器に使われる半導体集積回路の部品構造を解析し、高性能化を達成した。

受賞者には、賞状や賞金10万円が贈られる。同賞は里庄町出身の物理学者・仁科芳雄博士(1890~1951年)にちなみ、同顕彰会が66年度に創設。受賞者は今回で138人となった。



藤原泰誠さん



田中健太さん



板野由佳さん



藤居一輝さん

(小若菜美)